

令和6年度技術職員名簿

(記載例)

相手方番号
業者番号
記載しない

所在地 大分市大字町〇番〇号
商号又は名称 △△コンサルタント(株)
代表者 代表取締役 〇〇 〇〇

(注) 技術職員名簿に記載した事項に変更を生じた場合は、速やかに『技術職員名簿』様式4を提出すること。

R4年度より追加しました。

Table with columns for employee ID, name, code, birth date, and various technical categories (A1-A15, F1-F10, G1, I1-I15, K1-K2, L1-L2, M1-M2, N1-N2, O1-O6, P1-P2, R1-R2, S7, J). Includes a summary row at the bottom.

◆ 技術職員は、各審査基準日(第1回:3月1日、第2回:5月1日、第3回:8月1日)に在職し、常勤(年間を通じ月平均20日程度勤務)であること。
◆ 技術士関係の総合技術監理部門は ● を記し、合計又は小計は下段に再掲すること。

◆ 該当の資格欄に ○ を記す。(技術士、技術士補、RCCMについては「技術(専門)部門」別に記入すること。)
◆ 認定技術管理者、実務経験者の欄は該当の部門名を記入すること。複数の該当部門がある場合は○を記入し、別紙(名簿)を添付すること。

技術士資格一覧表

記載例

商号又は名称 △△コンサルタント(株)

資格名称	技術(専門)部門	選択科目	有資格者数(人)	技術(専門)部門	選択科目	有資格者数(人)
技術士	機械	機械設計		総合技術監理	機械設計	
		材料力学			材料力学	
		機械力学・制御			機械力学・制御	
		動力エネルギー			動力エネルギー	
		熱工学			熱工学	
		流体力学			流体力学	
		加工・ファクトリーオートメーション及び産業機械			加工・ファクトリーオートメーション及び産業機械	
		交通・物流機械及び建設機械			交通・物流機械及び建設機械	
		ロボット			ロボット	
		情報・精密機器			情報・精密機器	
	材料強度・信頼性		材料強度・信頼性			
	機構ダイナミクス・制御		機構ダイナミクス・制御			
	熱・動力エネルギー機器		熱・動力エネルギー機器			
	流体機器		流体機器			
	加工・生産システム・産業機械		加工・生産システム・産業機械			
	電気電子	送配電			送配電	
		電気応用			電気応用	
		電子応用			電子応用	
		情報通信			情報通信	
		電気設備			電気設備	
	電力・エネルギーシステム			電力・エネルギーシステム		
建設	土質及び基礎			土質及び基礎		
	鋼構造及びコンクリート	1		鋼構造及びコンクリート	1	
	都市及び地方計画			都市及び地方計画		
	河川、砂防及び海岸・海洋			河川、砂防及び海岸・海洋		
	港湾及び空港			港湾及び空港		
	電力土木			電力土木		
	道路	2		道路	1	
	鉄道			鉄道		
	トンネル			トンネル		
	施工計画、施工設備及び積算			施工計画、施工設備及び積算		
建設環境			建設環境			
上下水道	上水道及び工業用水道			上水道及び工業用水道		
	下水道	2		下水道		
農業	水道環境			水道環境		
	畜産			畜産		
	農芸化学			農芸化学		
	農業土木			農業土木		
	農業及び畜産			農業及び畜産		
	農村地域計画			農村地域計画		
	農村環境			農村環境		
	植物保護			植物保護		
	農業・食品			農業・食品		
	農業農村工学			農業農村工学		
農村地域・資源計画			農村地域・資源計画			
森林	林業			林業		
	森林土木			森林土木		
	林産			林産		
	森林環境			森林環境		
水産	林業・林産			林業・林産		
	漁業及び増養殖			漁業及び増養殖		
	水産加工			水産加工		
	水産土木			水産土木		
	水産水域環境			水産水域環境		
	水産資源及び水域環境			水産資源及び水域環境		
情報工学	水産食品及び流通			水産食品及び流通		
	コンピューター工学			コンピューター工学		
	ソフトウェア工学			ソフトウェア工学		
	情報システム・データ工学			情報システム・データ工学		
	情報ネットワーク			情報ネットワーク		
応用理学	情報システム			情報システム		
	情報基盤			情報基盤		
	物理及び化学			物理及び化学		
衛生工学	地球物理及び地球科学			地球物理及び地球科学		
	地質			地質		
	大気管理			大気管理		
	水質管理			水質管理		
	廃棄物管理			廃棄物管理		
	空気調和			空気調和		
	建築環境			建築環境		
	廃棄物・資源循環			廃棄物・資源循環		
	建築物環境衛生管理			建築物環境衛生管理		
			有資格者実人数	4	人	

1人が2つの資格を保有していれば双方にカウントすること。

重複して資格を保有している人がいても、ダブルカウントせず、実人数を記載すること。該当者がいない場合は「0」を入力すること。

(注) 1. 選択科目ごとの有資格者数は、延べ人数を記載すること。
 2. 有資格者実人数は、一覧表に記載された有資格者の実人数を記載すること。

